

衣類の「取扱い表示」が、新しい表示に変わりました。（2016年12月1日から）

取扱説明書をお読みになる際は、下記の対応表を参考にしてください。

新しい「取扱い表示」は、「5つの基本記号」と「付加記号」の組み合わせで表示しています。

(5つの基本記号)



(付加記号)

強さ	線なし	—	—
	通常	弱い	非常に弱い
温度	•	••	•••
低い	→		高い



新規格と従来規格の対応表（表示記号の意味が一番近いものを対比しています）

新規格 (JIS L 0001 : 2014)

1.洗濯の仕方の記号

	液温は50°Cを限度とし、洗濯機で通常の洗濯ができる
	液温は50°Cを限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる
	液温は40°Cを限度とし、洗濯機で通常の洗濯ができる
	液温は40°Cを限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる
	液温は40°Cを限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる
	液温は30°Cを限度とし、洗濯機で通常の洗濯ができる
	液温は30°Cを限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる
	液温は30°Cを限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる
	液温は40°Cを限度とし、手洗いができる
	家庭での洗濯禁止

2.漂白の仕方の記号

	塩素系および酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる
--	--------------------------

該当なし

	酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止

3.絞り方の記号

「自然乾燥の記号」に併合

4.乾燥の仕方の記号

タンブル乾燥(※2)

	タンブル乾燥ができる (排気温度上限80°C)
	低い温度でのタンブル乾燥ができる (排気温度上限60°C)
	タンブル乾燥禁止

従来規格 (JIS L 0217 : 1995)

1.洗い方(水洗い)の記号

該当なし

	液温は40°Cを限度とし、洗濯機による洗濯ができる
	液温は40°Cを限度とし、洗濯機の弱水流または弱い手洗い(※1)がよい

該当なし

	液温は30°Cを限度とし、洗濯機の弱水流または弱い手洗い(※1)がよい
	液温は30°Cを限度とし、弱い手洗い(※1)がよい(洗濯機は使用できない)
	水洗いはできない

2.塩素漂白の可否の記号

該当なし

	塩素系漂白剤による漂白ができる
	塩素系漂白剤による漂白はできない

該当なし

3.絞り方の記号

	手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は短時間で絞るのがよい
	絞ってはいけない

4.干し方の記号

タンブル乾燥

該当なし

新規格と従来規格の対応表（表示記号の意味が一番近いものを対比しています）

新規格 (JIS L 0001 : 2014)		従来規格 (JIS L 0217 : 1995)	
自然乾燥(※3)		干し方	
	つり干しがよい		つり干しがよい
	ぬれつり干しがよい		該当なし
	平干しがよい		平干しがよい
	ぬれ平干しがよい		該当なし
	日陰のつり干しがよい		日陰のつり干しがよい
	日陰のぬれつり干しがよい		該当なし
	日陰の平干しがよい		日陰の平干しがよい
	日陰のぬれ平干しがよい		該当なし
5.アイロンの掛け方の記号		5.アイロンの掛け方の記号	
	底面温度200°Cを限度として、アイロン仕上げができる		アイロンは210°Cを限度とし、高い温度(180°C~210°Cまで)で掛けるのがよい
	底面温度150°Cを限度として、アイロン仕上げができる		アイロンは160°Cを限度とし、中程度の温度(140°C~160°Cまで)で掛けるのがよい
	底面温度110°Cを限度として、スチームなしでアイロン仕上げができる		アイロンは120°Cを限度とし、低い温度(80°C~120°Cまで)で掛けるのがよい
	アイロン仕上げ禁止		アイロン掛けはできない
6.クリーニングの種類の記号		6.ドライクリーニングの記号	
ドライクリーニング		ドライクリーニング	
	パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる		ドライクリーニングができる 溶剤は、パークロロエチレンまたは石油系のものを使用する
	パークロロエチレンおよび石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる		該当なし
	石油系溶剤によるドライクリーニングができる		ドライクリーニングができる 溶剤は、石油系のものを使用する
	石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる		該当なし
	ドライクリーニング禁止		ドライクリーニングはできない
ウェットクリーニング(※4)		ウェットクリーニング	
	ウェットクリーニングができる		
	弱い操作によるウェットクリーニングができる		
	非常に弱い操作によるウェットクリーニングができる		該当なし
	ウェットクリーニング禁止		

(※1)弱い手洗いには、振り洗い、押し洗い、およびつかみ洗いがあります。

(※2)タンブル乾燥とは、ドラム式洗濯乾燥機や衣類乾燥機の中で、衣類を回転させながら温風で乾かす方式のことです。

(※3)自然乾燥のぬれ干しとは、洗濯機による脱水をしないで、あるいは手でねじり絞りをしないで干すことです。

(※4)ウェットクリーニングとは、本来水で洗えない衣類をクリーニング店が特殊な技術で水洗いする洗濯方法です。

当社洗濯機では、50°C以上のお湯をご使用いただかないよう案内しております。60°C、70°C、95°Cの表示記号を省略しています。